



医者に「鬱」と言われた原因不明の不調が…。

カイロプラクティックとの出会い

かれこれ11年前、仕事上（製鉄品を扱う会社）で寝ても、起きても、座っても、国分町に出発しても、体調が悪くて、大きな病院で各種の検査すること約1年間！

どこも悪くなくて、最終的には心臓外科医の Dr. から『鬱ですね！』とひとこと。

ある時、東勝山にある中本誠司現代美術館で館長の代わりにお留守番をしていたところ、そこに Dr.江川夫婦が訪ねてきて、写真家の奥様と話が盛り上がり、奥様の写真を見に行った場所が、この場所。仙台ゲゼンハイト・カイロプラクティック・オフィスでした。

身近なところでは、カイロプラクティック経験者から否定的なアドバイスもあったが、現代医学の判断が『鬱』だったこともあり、まずは行ってみることに。

背骨のレントゲン見ながら Dr. E は『ここと、ここが悪いと立って歩くこともままならない。』との発言！『症状どんぴしゃり！ここに通う！！』に決定。

で、気が付けば、何と私が通院の最長老！！10年も通っていたとは。

今？あの症状は全くない。

ぎっくり腰もしなくなっただし、低気圧が近づくと節々が痛い者達の集い？にも参加してないし。

メリットだらけ。

が、デメリットがひとつ。

国分町に出発する資金難に陥っています。常連客のはずが、一見様に戻りそうだ。

Dr. E 今後よろしく。

50代・男性・刃物屋さん